

【講師紹介】

佐藤晋治：教育実践総合センター教授。臨床心理士・学校心理士。そだちとまなびの問題（LD, ADHD, ASD など）の理解と支援を専門とする。

高山美津子：教育実践総合センター非常勤講師。大分市教育センターエデュ・サポートおおいた相談員。学校心理士・学校カウンセラー。大分市教育相談所主幹，大分市小学校校長を歴任。

渡辺 亘：大分大学福祉健康科学部教授。臨床心理士。心理的問題（情緒的な混乱，不安，怒り，傷つき。またそこから生じる不登校，いじめ，習癖など）の理解と支援を専門とする。（50音順）

【スケジュールと内容】

▼ベーシックコース（内容は変更される場合があります）

第1回 5月23日（火）19～21時 担当：佐藤晋治	「合理的配慮と ICF」 平成28年4月1日より施行された障害者差別解消法では、合理的配慮の提供が求められているが、診断名との対応で考えるものではない。その子の「活動・参加」への「願い」を「環境因子」によって実現するという考え方が重要である。
第2回 6月27日（火）19～21時 担当：渡辺 亘	「『問題』をどうとらえるか」 子どもの問題を理解する際は、いくつもの筋書きを考えてみる方がよい。また、「何が原因か」という視点だけでなく（よりも）、「なぜこの子はそうせざるを得ないのか」「この子なりの意味があるのではないか」という視点からとらえ、子どもの経験に近づくことが大切である。
第3回 7月25日（火）19～21時 担当：佐藤晋治	「子どもの育ちにおけるアセスメント」 子どもの育ちにおけるアセスメントには、(1)「その子の可能性を明確にするもの」、(2)「その子の適応に環境との相互作用の結果としてとらえるもの」、(3)「子ども目線での困りをとらえるもの」の3つに分類できよう。ここでは(3)について考える。
第4回 8月22日（火）19～21時 担当：高山美津子	「不登校の問題を考える」 不登校についてはこれまでも様々な対応を行ってきているが、増加傾向にあり、喫緊の教育課題である。ここでは、不登校の理解と対応に関する基礎知識と、不登校の今日の特徴と関わりについて、子どもたちの声や事例を通して一緒に考えていく。
第5回 9月26日（火）19～21時 担当：渡辺 亘	「『共感』とは何か？」 「共感が重要」とよく言われるが、そもそも共感とはどういうことだろうか。どうすれば共感していると言えるのだろうか。ここでは、共感の意味や本質を整理しながら、言葉や遊びを通していかに共感していくかということについて、できるだけ具体的に考えてみたい。
第6回 10月24日（火）19～21時 担当：高山美津子	「学級がうまく機能しない状況を考える」 授業中に立ち歩く、私語をやめない、教師に対する暴言等、小学校で授業が成立しなくなる、いわゆる「学級崩壊」が広がっている。また学級崩壊したクラスを平穏な状態に戻すのは困難とされ、教師は疲弊している。ここでは「学級崩壊」の原因と対応について考えていく。
第7回 11月28日（火）19～21時 担当：佐藤晋治	「ヒトはなぜそのように行動するのか」 行動上の問題を考える際には、その行動が生起する文脈を捉え、不適切行動の抑制のみならず、適切行動の伸長が必要となる。このような考え方を実践する際には、応用行動分析の基礎的原理と、行動支援の方略を習得することが必要となる。

▼アドバンスドコース

第1回 12月26日（火）19～21時	「事例検討」 教育臨床的な関わりを学ぶためにもっとも重要なことは「事例検討」である。それにより、理論は実践に下ろされ、実践により理論の学びが深まると言える。また、事例検討を通じて、援助のための新たな視点がえられたり、専門家として取り組むべき課題について示唆がえられたりすることも少なくない。 このコースでは、参加者から各回1事例を提示してもらい、ディスカッションを行う。一方向的な指導ではなく、双方向的な検討の中で、徐々に子ども理解が深まっていく醍醐味を経験してもらいたい。 助言：佐藤晋治・高山美津子・渡辺 亘
第2回 1月23日（火）19～21時	
第3回 2月27日（火）19～21時	
第4回 3月27日（火）19～21時	